

1.31 学生大会に結集せよ!

全学友に再度呼びかける

2.4 沖縄セネスト連帯市大ストに起て!

全市大の学友諸君 沖縄では、2月4日に、B2撤去、核基地撤去、基地撤去、即時無条件全面返還をめざす全県セネストが県幹部に結集する学友者を中心に「命を守る県民共闘会議」に結集する多数の県民により準備されていく。一方、米政府は、県民の政治活動を一挙禁止する弾圧立法、治安維持法である入管法中修訂を公布したが、人命を守る県民共闘会議は、この新中修訂撤廃もスローガンに組み入れ、断固セネストで闘うことを宣言している。勿論、沖縄奪還戦争は、治安維持法の最も重要な環をなすものである。それは、日米軍事同盟を解体し、日帝侵略、非武装中立へと突進する。アジアにおける平和共存を確立してゆく過程でもある。その中心を担う、沖縄における復帰戦争は過去の運動の蓄積をふまえて量的にも質的にも発展してきている。それは、アメリカのベトナム侵略戦争の進行過程で、又、67年11月の日米共同声明反対闘争を乗り越えて、単なる復帰戦争からベトナム反戦闘争と結合されるという質的強化がなされてきた。又昨4日には、スト権を主張してこれに闘争仲間がB2撤去闘争で、自己の生命をかけてストライキをうち、又今回の闘争へと発展を促しているのである。

にも拘らず、本土における我々の闘いは、極めて不十分にして展開できていないのである。この2・4沖縄全県セネストは治安破壊闘争、そしてこれ以降の70年代の情勢に決定的という位の重要性をもっている。我々が、治安破壊闘争を、真に、自己の闘争として、うけとめるならば、この2・4沖縄全県セネストの意義を確認するならば、沖縄全県セネストに連帯する行動に、なればならない。我々革新グループは、市大スト、御堂前ストも行動提起した。これは、今回の闘争の重要性のみからでもよくわかる。そして、この2・4セネストは、あなたほどの称にすぎないかと、我々に思想的に問いかけるものである。更に、我々は如何なる時代を創りだし、そして、生きようとするかも知られている。我々が、真に人間として生きられる様子を欲し、学生として多数の人民の利益になるよう奮闘しようとするれば、非人間的な状況の中から己のさけびを「B2撤去、一切の核兵器の撤去」「祖國復帰」「基地撤去」——その具体的現れである2・4セネストを、試験があるからというただそれだけの理由で、無視すること、が一体誰にできるのか。我々革新グループは、このセネストに連帯して市大教養スト、御堂前ストを提起し、31日の学生大会を開催するため署名をおこらせた。又昨日で署名470名を突破した。そして31日のクラス討議においては、沖縄セネスト支持、学生大会参加決議があげられていく。学友諸君は31日にひきつづきただちにクラス討議を再開し、2・4の意義を確認し、31日の学生大会に主体的な参加をもって、教養スト、御堂前ストを勝ちとろうではないか!

学生大会開催要求署名470突破

革新グループ